

皆様

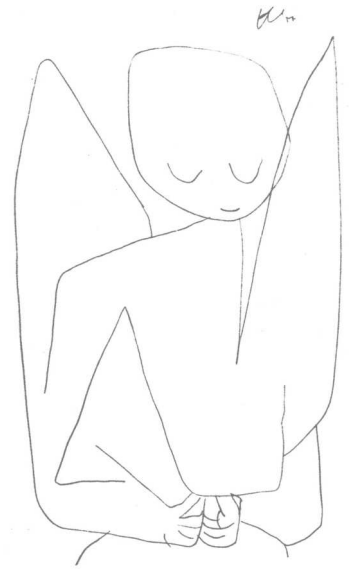
私は2015年3月末に41年間働いた京都大学原子炉実験所を定年退職しました。その時に、研究室の書籍、雑誌、仕事道具もすべて捨て、家のものも、子どもたちと撮った写真のアルバムも棄てました。そして、仙人になりたいと発言し、人生の最後を生きる場として松本を選び、移住しました。

でも、2011年3月11日に突然発生したフクシマ事故は一向に収束できず、被害者の苦難はますます深まってきました。その一方で、加害者である東京電力と国は、まったく責任を取らないまま生き延び、さらに原子力を進めようとしています。私は新たな仕事などには就かず、名刺も作らないことにしました。でも、簡単に仙人になれるはずもなく、私が担わなければならないと思う仕事を引き続きお引き受けしてきました。でも、生きている者、老いと死は避けられません。私は2年前に「仙人になる道」という文章を書きました。

(<http://www.go.tvm.ne.jp/~koide/Hiroaki/remark/仙人への道.pdf>)

自分の老いに自覚的でありたいと思い、お引き受けする仕事を厳選させて頂きと皆さんにお願いしました。ただ残念ながら、それ以降も、フクシマ事故をめぐる状況は良くなりならず、国は東京オリンピックの熱狂に国民を引きずり込むことで、フクシマ事故をなかったことにしてしまおうとしています。そんなことは許したくありません。

でも、私も70歳になりました。還暦を迎えた時に、後は余生だと思いましたし、古来稀だと言われる古稀に達した今、身体的な老いはもちろん、知的な老いも実感します。私に期待をかけて下さる方がいらっし



パウル・クレー
Paul Klee
《忘れっぽい天使》1939, 880(VV 20)
„vergesslicher Engel“
Pencil on paper
© 1988, VG BILD-KUNST, Bonn

やることを光栄なことと思いますし、ありがたいことと思います。でも、今後は、お引き受けする仕事を一層厳選し、どうしても私でなければならぬ仕事以外はお断りさせていただきます。

また、「仙人になる道」にも書きましたように、文末に記した場は私の自宅ではなく、私の連れ合いが英語教室を開くために借りている部屋で、私はほとんどその場に居りません。日時をご指定いただいた電話インタビューなどはお受けできますが、それ以外の電話はほぼお受けできません。また宅急便など受け取り証明が必要なものは、まず受け取れず再配達を依頼して、その時間帯に文末の場に行き、受けとらねばなりません。たくさんの方々がいまだに、ご著書、定期的な通信、私が「いのちの水」と呼ぶ酒、各地の美味しいものなどを送ってくださいます。でも、私信以外の郵便物は固くお断りさせて下さい。ご好意を裏切るようで誠に申し訳ありませんが、私の我が儘をお聞き届けいただけると嬉しいです。

フクシマ事故被害者の方々の苦難が少しでも軽くなることを願うとともに、皆さんお一人お一人のご活躍を願います。

2019年8月末日

小出 裕章

長野県松本市開智1の1の1

phone: 0263-75-8098

(faxは使えなくなりました。)

e-mail: koidehiroaki1949@yahoo.co.jp

HP: <http://www.go.tvm.ne.jp/~koide/Hiroaki/index.htm>